

# 令和5年度第2回恵庭創生懇談会

日 時 令和5年8月28日（月）16時00分～17時15分  
会 場 恵庭市役所 3階 第2・第3委員会室

## 次 第

### 1. 開会

### 2. 市長あいさつ

### 3. 議 事

(1) 第3期恵庭市総合戦略の素案について……資料1

(2) 横断的施策の検討プロジェクトについて…資料2

### 4. 閉会

(素案)

# 第3期恵庭市総合戦略

## ガーデンシティプラン

～文化・田園未来都市を目指して～

令和6年 月

恵庭市

# 目 次

1. 恵庭市総合戦略の目的	1
1.1 恵庭市総合戦略の目的	1
1.2 総合戦略の位置付け（恵庭市総合計画との関係）	2
2. 恵庭市総合戦略の対象期間	2
3. 現状認識	3
4. 恵庭市総合戦略	10
4.1 基本目標（目指すべき将来の方向性）	10
(1) 人がつながり人口減少に負けない魅力あるまちづくり	10
(2) 安全安心に住み続けたいまちづくり	11
(3) 恵庭らしさを活かした魅力あるまちづくり	11
(4) 希望を持って子育てしたいまちづくり	11
4.2 重要目標達成指標（KGI）	11
4.3 具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）	12
(1) 人がつながり人口減少に負けない魅力あるまちづくり	12
(2) 安全安心に住み続けたいまちづくり	14
(3) 恵庭らしさを活かした魅力あるまちづくり	16
(4) 希望を持って子育てしたいまちづくり	20
4.4 施策の横断的展開	22
(1) 若者世代を中心としたニーズに対応する横断的施策（P17 参考資料参照）	22
(2) 交流人口増による幅広い地域産業活性化（P18 参考資料参照）	22
(3) 妊娠・出産・就労・結婚・定住への切れ目のない支援（P19 参考資料参照）	22
(4) 新ガーデンデザインプロジェクトの推進（P20 参考資料参照）	22
(5) 新しい時代の流れを力に（P21 参考資料参照）	22
5. 戦略の推進管理	23
5.1 PDCAサイクルの推進	23
6. 参考	24
6.1 総合戦略の構成の概要	24
6.2 事業の展開の方向性	25
(1) 若者世代を中心としたニーズに対応する横断的施策	25
(2) 交流人口増による幅広い地域産業活性化	26
(3) 妊娠・出産・就労・結婚・定住への切れ目のない支援事業一覧	27
(4) 新ガーデンデザインプロジェクトの推進	28
(5) 新しい時代の流れを力に	29
6.3 令和5年度恵庭創生懇談会	32

## 1. 恵庭市総合戦略の目的

### 1.1 恵庭市総合戦略の目的

我が国は本格的な人口減少社会を迎え、都市部への若者の人口集中により地方における地域コミュニティの衰退や経済活動の低下など、まちの機能維持に重大な懸念が生じる可能性があり、その対応が喫緊の課題とされています。また、令和2年の新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、テレワークやオンライン会議の普及、学習タブレットの導入などデジタル化の進展が一気に進むなど、社会情勢に大きな変化をもたらしました。

恵庭市人口ビジョン（令和元年12月）における本市の将来人口は、国を含めた各種施策の展開を図ることで合計特殊出生率<sup>\*1</sup>を1.8まで回復することを見込み、令和2年（2020年）の人口70,282人としてピークを迎えたのち減少に転じ、令和22年（2040年）は66,000人、令和47年（2065年）にはピーク時の78.7%である55,290人と推計されています。

令和3年度の本市の合計特殊出生率は1.35であり、ピークとされた令和2年9月末現在<sup>\*1</sup>の人口は70,092人と人口ビジョンの推計値を下回ったものの、以降も自然減（出生数-死亡数）を上回る社会増（転入-転出）が続くことで人口が増加<sup>\*3</sup>し、令和5年5月末現在は70,252人となっています。

令和5年1月に実施した市民アンケートにおいて回答者の92%が恵庭市は住みやすいと評価しています。豊かな自然と交通などの利便性を併せ持ち、市民の郷土愛も高いことが裏付けられました。まちの健全な将来を考えると、この優れた地域性を生かしつつ、今後も地域の課題に向き合い、少子高齢化を克服し、地域の強みを生かし、地域の生き残りを図っていかねばなりません。そのためにも、住みやすいまち、住み続けたいまちとしてライフスタイルの提供を続けていく必要があります。

総合戦略は、恵庭市が次世代に向けて更なる発展を遂げ、この地で暮らすことに幸せを感じられるまちをつくり、人口減少や少子高齢化が急速に進む社会情勢においても高い持続性を確保するため、短・中期的に取り組むべき施策の基本的方向、具体的な施策をまとめたものです。

本市の独自施策である、ゼロカーボンや近隣自治体における新たな事業展開との連携等を踏まえ、新たな社会変化にも機動的に対応していくため、第2期恵庭市総合戦略を1年前倒しし、「第3期恵庭市総合戦略」を策定します。

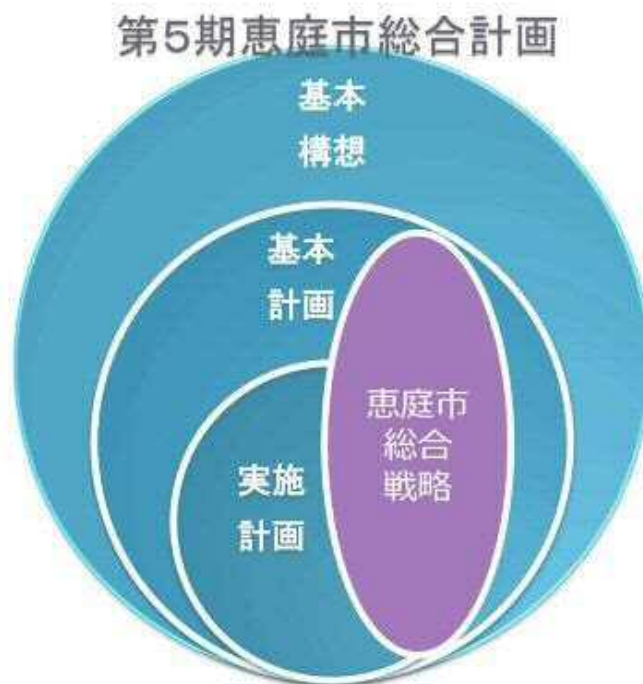
\*1 合計特殊出生率とは15歳から49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもの

\*2 国勢調査による人口等基本集計が行われる基準日の10月1日の直近数値を採用

\*3 総務省における令和4年1月1日現在の道内人口増は恵庭市、東川町、更別村の3市町村のみ

## 1.2 総合戦略の位置付け（恵庭市総合計画との関係）

恵庭市総合戦略は、第5期恵庭市総合計画において人口減少の問題に特化した重点的・横断的な取り組みを進めるべき施策の基本計画・実施計画として位置付け、国の交付金などを活用し取り組んでいくこととします。



## 2. 恵庭市総合戦略の対象期間

令和6年度（2024年度）から令和10年度（2028年度）までの5年間とします。

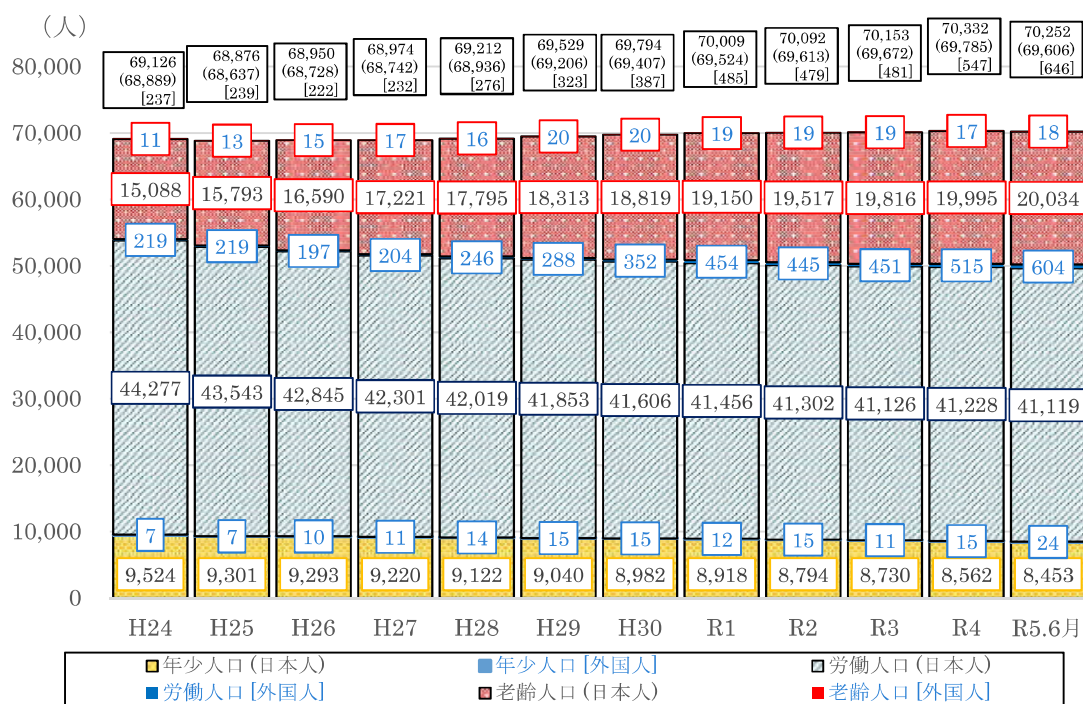
### 3. 現状認識

#### (1) 人口減少予測の人口ビジョン 2019 に対して人口は増加

平成 30 年 3 月の国立社会保障・人口問題研究所における人口推計は、令和 2 年をピークに人口減少が進む予想に反し人口増加を続け、令和 5 年 5 月末現在で 70,252 人となっています。

特に、令和 2 年の 15 歳未満の「年少人口」8,809 人、15～64 歳未満の「労働人口」41,747 人は、ともに平成 30 年時の推計値（年少人口 8,563 人・労働人口 40,975 人）を上回り、高齢化への進展は抑えられている状況にあります。また、人口増加の要因の一つとして、技能実習生を中心とした外国人の増加が挙げられます。

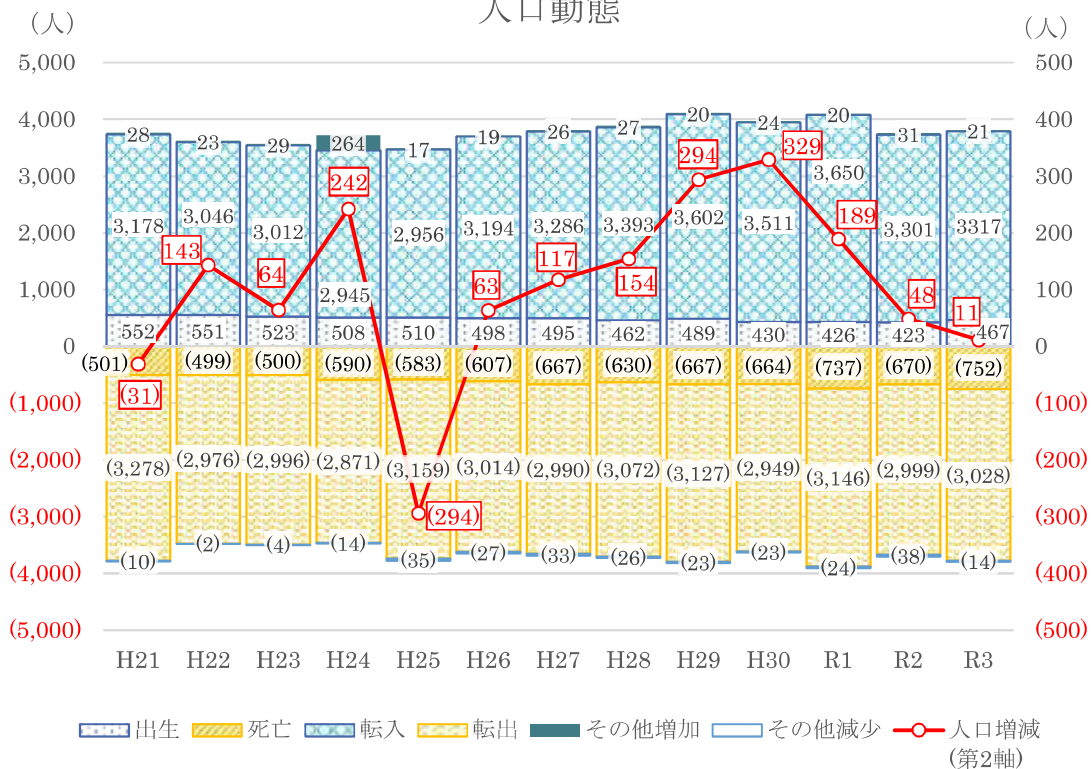
恵庭市の人口推移



#### (2) 自然減を上回る社会増で推移するものの人口増加数は低下傾向

自然動態の推移では、出生数の減少と死亡数の増加により自然減の傾向が拡大しているものの、それを上回る社会増（転出>転入）により、平成 26 年以降は人口増加しています。しかし、近年の死亡数の増加と新型コロナウイルス感染症拡大に伴う転入者数の低下が見られたことで人口増加の程度も縮小傾向にあり、今後の動向に注視する必要があります。

## 人口動態

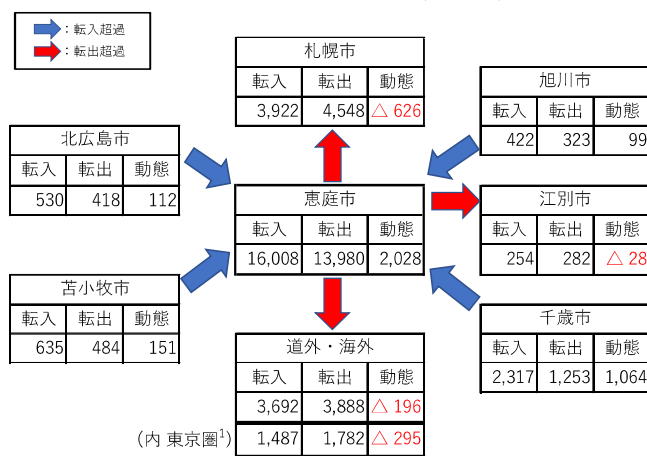


### (3) 北海道内全域から転入により人口増加

平成30年度から令和4年度までの転入・転出者数の累計による社会動態では、恵庭市からは札幌市、江別市及び道外・海外への人口流出が見られるものの、道内各地から人口流入している状況にあり、5年間で2,028人の社会増となっています。

総合振興局及び振興局別では、道外・海外への転出を除き、管内全域から人口流入しており、特に石狩管内(年平均99.4人)、胆振管内(同75.4人)からの転入が多く確認されます。しかし、以前として道外・海外、特に東京圏への流出が見られています。

○恵庭市への転入・転出累計者数 (H30~R4)



○総合振興局及び振興局別 転出者累計 (H30~R4)

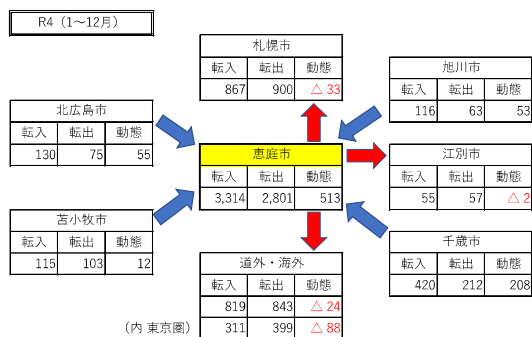
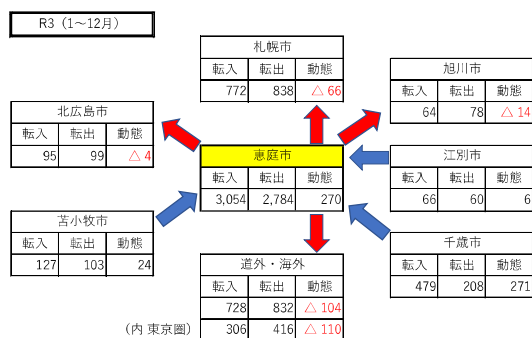
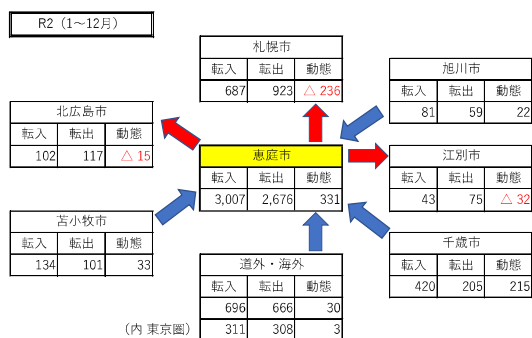
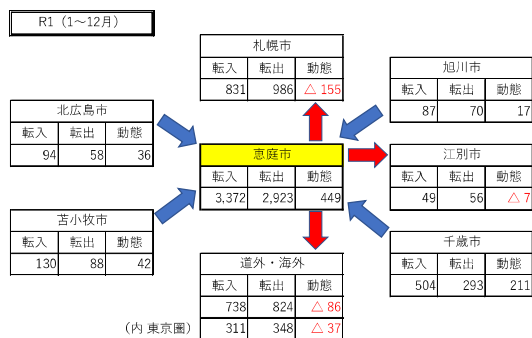
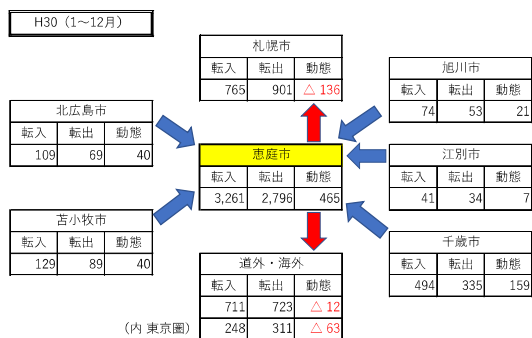
	転入	転出	動態	年平均
石狩管内	7,127	6,630	497	99.4
空知管内	714	479	235	47.0
後志管内	301	220	81	16.2
胆振管内	1,176	799	377	75.4
日高管内	219	121	98	19.6
渡島管内	469	249	220	44.0
檜山管内	54	33	21	4.2
上川管内	842	629	213	42.6
留萌管内	70	45	25	5.0
宗谷管内	124	57	67	13.4
林-夕管内	401	201	200	40.0
十勝管内	429	358	71	14.2
釧路管内	258	198	60	12.0
根室管内	132	73	59	11.8
道外	3,537	3,675	△ 138	-27.6
海外	155	213	△ 58	-11.6
計	16,008	13,980	2,028	405.6

注1) 東京圏とは、東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県とする

注2) 北海道による住民基本台帳移動報告には「外国人住民」を含めていない

出典：総合振興局及び振興局市区別 転入転出者数(北海道計画局統計課)より

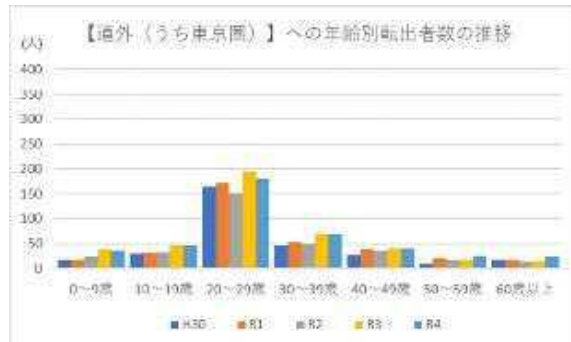
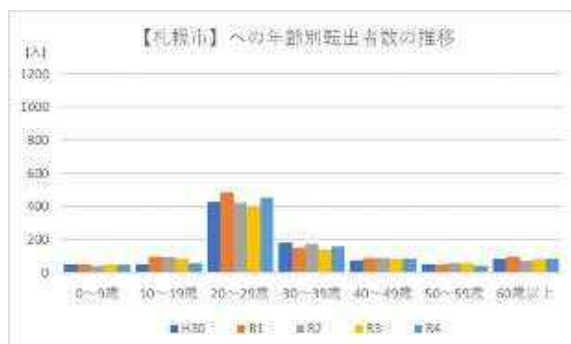
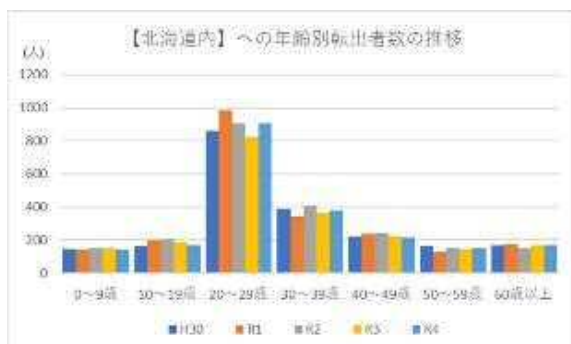


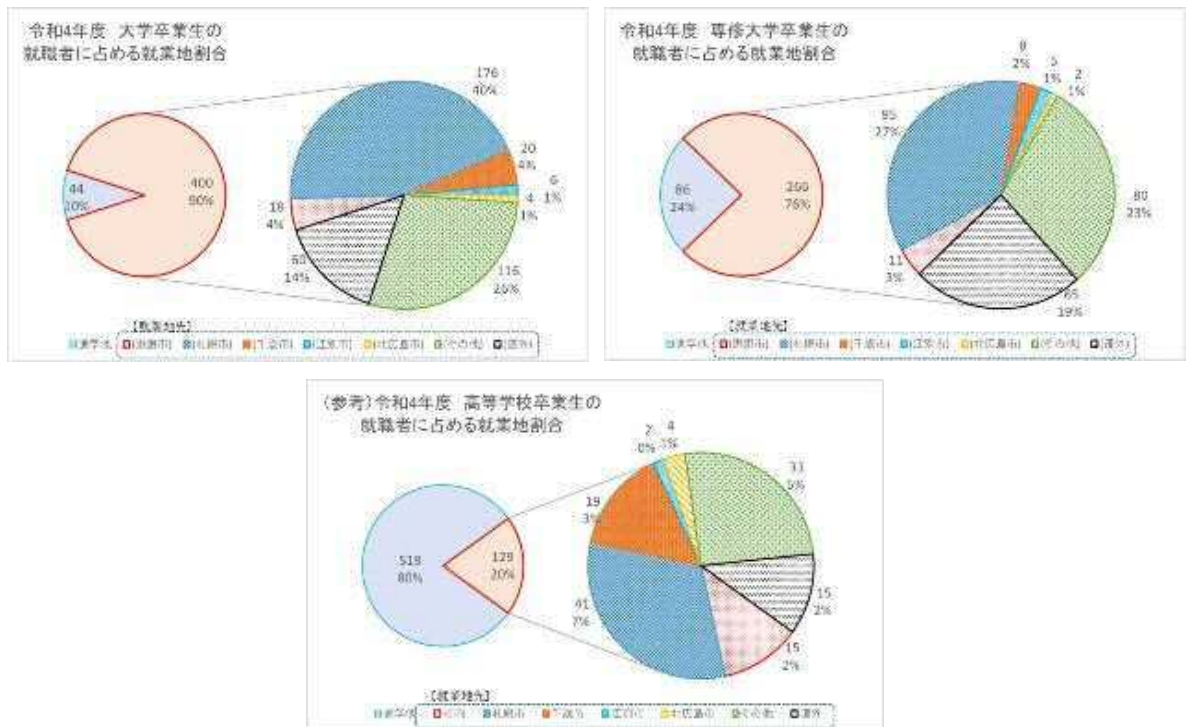


#### (4) 20代の転出超過が顕著

年齢階層別純移動数では、20代の転入・転出が最も多く、かつ、20代のみ転出超過となっています。この状況は、札幌周辺における進学のため恵庭市に転入し、就業及び転勤等により恵庭市から大都市圏に転出していることが主要因であり、コロナ禍により令和2年度は落ち込みがあったものの、令和4年度には平成30年度より多く転出していることが伺えます。

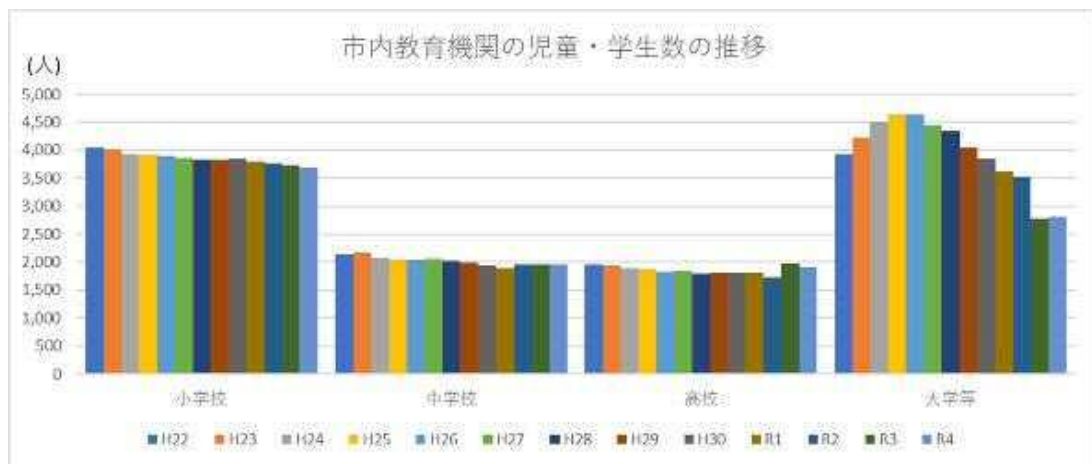






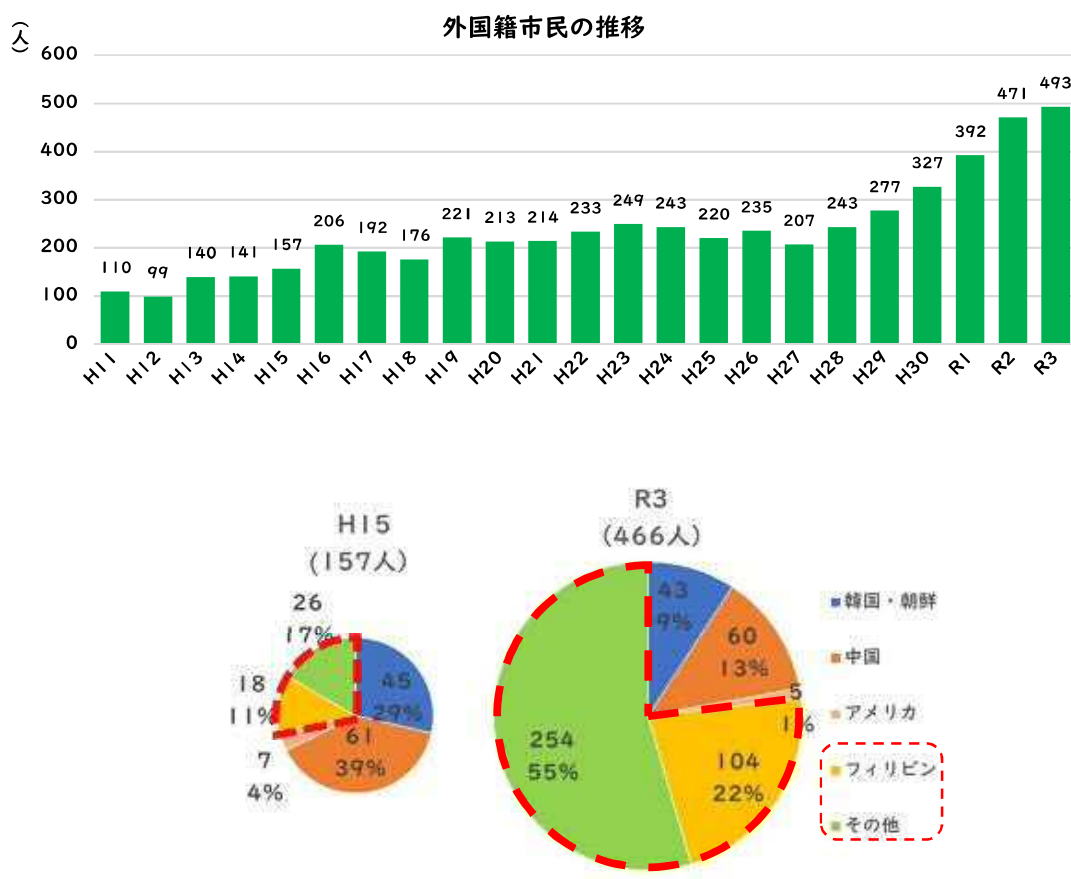
(5) 少子化による児童及び学生数の推移

市内教育機関における児童数及び学生数は、少子化に伴い減少傾向にあり、中学校では令和元年の1,901人に比べて近年微増傾向にあるものの、小学校の児童数の減少を受けて今後は減少していくことが予想されます。高等教育機関においては、令和3年度に高等学校が市外からの校舎移転、及び大学の市外移転があったことを受け、市全体では学生数の減少が見られています。



### (6) 外国籍市民の推移

恵庭市の人口が増加している要因の一つである外国籍市民はコロナ禍においても増加しています。国籍別にみると、韓国や中国、アメリカ籍の人数はほぼ変わらないものの、外国人技能実習生を中心としたフィリピン、ベトナム等の東南アジアが増加していることが伺えます。



### (7) 交流人口の推移

観光入込客数の推移をしてみると、近年は130万人程度で推移しており、令和2年度の外出自粛要請のあったコロナ禍においても約1割(12万7千人の減)にとどまっています。このことから、本市への観光客は、主に本市近郊の道内客が訪問していることが伺えます。令和4年度には、花の観光拠点である「はなふる」をメイン会場として開催されたガーデンフェスタ北海道2022に道内外から34万人が来場したことにより、年間201万人の観光入込客数となりました。



(8) 市民総所得金額の推移

市民総所得金額は景気の動向も影響を受けますが、これまでは生産年齢人口との関連が大きくありました。近年は、高齢者の働く場の確保や女性労働力の活用により総所得は上昇傾向にあり、令和元年には平成10年当時と同程度まで増加し、新型コロナウイルス感染症拡大以降も増加しています。



## 4. 恵庭市総合戦略

### 4.1 基本目標（目指すべき将来の方向性）

当市は、水と緑豊かな石狩平野の平坦な地形の中、「空の玄関・新千歳空港」と「道都・札幌市」の中間に位置し、国道 36 号線や JR4 駅を有するなど、優れた立地環境を背景に田園都市として発展を続けてきました。こうした地理的優位性を活かすとともに、恵庭市総合戦略の策定に当たり、「恵庭市人口ビジョン」において、人口動向や将来人口の分析を行い、目指すべき将来の方向性を定め、各種施策に取り組んだことで、第 1 期総合戦略の策定以降、人口は僅かながらも増加傾向にあります。現状認識に基づく分析結果においても、第 2 期恵庭市総合戦略の基本目標から大きく内容を変更する必要はないと考えます。

「ひと」の現状分析としては、転入者による社会増によって若者の流出や出生率の低さをカバーしているということが推測されます。このため、今後も住みよいまちという強みを伸ばすため、宅地供給により転入者増、対して若者定着や低出生率という弱みを克服する施策展開を行う必要があります。

「しごと」の現状分析としては、生産年齢人口の減少による域内経済の縮小を阻むため、高齢者や女性、外国人材等の活躍できる場やその方策を創造することが必要です。

「まち」の現状分析としては、恵庭の自然、景観など「花・水・緑」をコンセプトに、全国都市緑化フェアの開催を起爆剤として、交流人口増加を目指し、雇用に繋がるような経済波及効果を高める必要があります。

また、次の指標となる次期人口ビジョンについては、平成 28 年から令和 2 年との人口動態に基づく国立社会保障・人口問題研究所の将来人口推計から予測することになります。しかし、コロナ禍の影響が反映された推計結果であり、本市における近年の住宅団地の造成、人口増の要因の一つである外国人技能実習生における今後の制度改正、なにより近隣における次世代半導体工場の進出に伴う外部的影響は非常に大きいことが予想されます。

このことから、第 3 期恵庭市総合戦略は、今後公表される将来人口推計の結果に由らず、デジタル化をはじめとした新たな社会変化にも機動的展開に対応していくため、現状分析を踏まえ、第 5 期恵庭市総合計画策定時の市民意見をもとにした「まちづくりの視点」における重点的な取り組みの方向性を引き続き取り組むこととし、基本目標を以下の 4 つに決めました。

#### (1) 人がつながり人口減少に負けない魅力あるまちづくり

人口減少は避けられないものであり、それに応じたコンパクトシティの推進や民間の力を活用する必要があります。

(2) 安全安心に住み続けたいくなるまちづくり

転入を呼び込む定住のためには、若者から高齢者まで安心して暮らせるまちづくりが必要であり、良質な職・住が求められます。

(3) 恵庭らしさを活かした魅力あるまちづくり

恵庭の恵まれた地理的条件を活かし、観光など交流人口を増加させることにより人口減少による経済縮小を鈍化させる必要があります。

(4) 希望を持って子育てしたくなるまちづくり

妊娠・出産・子育て・教育の切れ目のない支援により安心して子育てできることはもとより、子育て世代を呼び込むためには、学力向上などの教育・子育て環境を充実させることが必要です。

## 4.2 重要目標達成指標（KGI）

重要目標達成指標（KGI）とは、総合戦略を総合的かつ計画的に推進する観点から、4つの基本目標の目指す方向性に対して設定した指標です。具体的な施策におけるそれぞれの重要業績評価指標（KPI）が達成されることで、KGIの達成を目指します。

数値目標	基準値	目標値（R6）

全体の施策確定後、改めて提示。



### 4.3 具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）

各施策について、新規事業は◎、拡大事業は○、継続事業は◇として標記しています。

#### (1) 人がつながり人口減少に負けない魅力あるまちづくり

具体的な施策・事業	重要業績評価指標（KPI）
<p><b>①多世代交流の推進</b></p> <p>子どもから高齢者まで多機能施設による交流、「居場所」の創設を推進し、コミュニティの維持、増進に努めます</p> <p>◎地域拠点施設の整備</p> <p>◇新ガーデンデザインプロジェクトの推進</p> <p>◇多世代交流推進事業 (公共施設の利活用、歩くまちづくり)</p>	<p>【複合施設利用者数】</p> <p>基準：636,800人 (R4)</p> <p>目標：増加</p>
<p><b>②広域化による機能維持・増進</b></p> <p>教育、文化、医療、産業等幅広い分野において他市と連携し、先進事例の導入などにより、機能の拡充やまちの魅力づくりを図ります</p> <p>◇さっぽろ連携中枢都市圏事業</p> <p>◇千歳市との連携強化</p> <p>◇地域救急医療体制連携事業</p> <p>◇都市間交流による産業連携</p>	<p>【連携事業の実施数】</p> <p>基準：</p> <p>目標：増加</p> <p><del>都市間連携による商品開発数（基準値 R1=2 個、目標値 R6=10 個（5 年間累計））</del></p>
<p><b>③駅周辺の賑わいづくり</b></p> <p>駅を中心としたコンパクトシティを目指し、少子高齢化社会に対応した機能の集約、確保、充実を図ります</p> <p>◇エリアマネジメントの推進（地域デザイン）</p> <p>◇駅周辺再整備事業</p> <p>◇商店街活性化事業</p> <p>◇土地利用促進による都市機能集約</p> <p>◇公共交通ネットワーク形成事業</p> <p>◇駐車場対策</p> <p>◇駅まちプラザ賑わい創出事業</p> <p>◇（再掲）新ガーデンデザインプロジェクトの推進</p>	<p>【エコバス利用者数】</p> <p>基準：318,254人 (R4)</p> <p>目標：維持</p> <p>【最寄りの駅周辺に賑わいがあると思う人の割合】</p> <p>基準：15.5% (R3)</p> <p>目標：上昇</p>
<p><b>④公共施設マネジメント<sup>2</sup></b></p> <p>公共施設の機能を維持し、統廃合・複合化により時代に合った適正な管理コスト、多世代交流機能、遊休地の民間</p>	<p>【公共施設床面積】</p> <p>基準：253,259 m<sup>2</sup> (R4)</p>



<p>利用を図ります</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇公共施設等再編（インフラ含む）</li> <li>◇公有地有効活用（住宅地等供給促進）</li> <li>◇（再掲）新ガーデンデザインプロジェクトの推進</li> </ul>	<p>目標：</p>
<p><b>⑤PPP<sup>3</sup>・PFI<sup>4</sup>の推進</b></p> <p>公共サービス、機能維持のため、官民協働を推し進め、民間活力、ノウハウ等を活用し、稼ぐ公民連携を進めます</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇民間企業やNPO 法人等との連携・協働</li> <li>◇PPP・PFI 推進事業</li> <li>◇AI やIoTの活用</li> <li>◇企業版ふるさと納税の推進</li> <li>◇（再掲）新ガーデンデザインプロジェクトの推進</li> </ul>	<p><b>【PPP・PFI 件数】</b></p> <p>基準：22 件（R4）</p> <p>目標：増加</p>

## (2) 安全安心に住み続けたいくなるまちづくり

具体的な施策・事業	重要業績評価指標 (KPI)
<p><b>⑥暮らしの情報発信・充実</b></p> <p>様々な暮らしに関する情報の ICT 化により、スマートフォンなど様々な端末・媒体・ツールでの情報入手を可能にし、市民の利便性の向上や関係人口増への手段とします</p> <p>◇ガーデンシティえにわライフスタイル発信</p> <p>○シティセールス推進事業</p> <p>◇恵庭市行政デジタル化の推進</p> <p>○多様なツール活用による情報発信</p> <p>◇各種マップ多言語化推進事業（多文化共生）</p> <p>◇窓口サービス向上の推進</p> <p>◇（再掲）新ガーデンデザインプロジェクトの推進</p>	<p>市ホームページセッション数</p> <p>【Instagram フォロワー数】</p> <p>基準： 目標：増加</p> <p>【えにわかアクティブユーザー数】</p> <p>基準： 目標：増加</p>
<p><b>⑦住宅政策の推進</b></p> <p>既存住宅の流通を図り、リフォームや耐震化を図り、住み替えや住宅の流動化を関係機関と連携しながら促進します。また、新規住宅団地の造成による新築戸数の確保を図ります。</p> <p>◎新たな住環境の整備</p> <p>◎公的支援住宅の確保</p> <p>◇既存住宅有効活用・流動化事業</p> <p>◇耐震化リフォーム推進事業の充実</p> <p>◇住み替え促進事業</p> <p>◇3世代住宅の推進</p> <p>◇民間未利用地宅地開発等の促進</p> <p>◇（再掲）新ガーデンデザインプロジェクトの推進</p>	<p>【住み替えセミナー参加者数】</p> <p>基準：497 人 (H24～R4 計) 目標：増加</p> <p>【空き家率】</p> <p>基準：12.1% (H30) 目標：減少</p> <p>【セーフティネット登録住宅数】</p> <p>基準： 目標：増加</p>
<p><b>⑧健康・長寿の推進</b></p> <p>誰もが健康で生きがいのある生活を送り続けるために、高齢者の保有する知識や経験を地域貢献に生かすとともに、健康に対する意識の向上や気軽に楽しめるスポーツの普及などを推進します</p> <p>◇スポーツ健康まちづくりの推進</p> <p>◇高齢者の居場所事業の充実</p>	<p>【複合施設利用者数】</p> <p>基準：636,800 人 (R4) 目標：増加</p>

<ul style="list-style-type: none"> <li>◇高齢者等健康増進事業</li> <li>◇運動やスポーツを通じたまちづくりの推進 (健康イベント、歩くまちづくり等)</li> <li>○高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施</li> <li>◇在宅医療と介護の連携の推進</li> <li>◇介護保険地域密着型サービスの整備・充実</li> <li>◇介護保険施設サービスの充実</li> <li>◇地域包括ケアシステムの推進</li> <li>◇コミュニティ・スクール事業</li> <li>◇(再掲) 新ガーデンデザインプロジェクトの推進</li> </ul>	<p><b>【長寿大学参加者数】</b> 基準： 目標：増加</p> <p><b>【サービス付き高齢者向け住宅数】</b> 基準： 目標：増加</p>
<p><b>⑨防災環境の充実</b></p> <p>異常気象をはじめとする自然災害の常態化に備え、北海道や関係機関との連携を強化するとともに、地域防災力の強化と充実に向けた取り組みを推進する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇地域強靱化の推進</li> <li>○応急手当の普及啓発</li> <li>◇救急・防災体制の構築</li> <li>◇緊急貯水槽の設置(消防用水の併用)</li> <li>◇(再掲) 新ガーデンデザインプロジェクトの推進</li> </ul>	<p><b>【講習受講者数(累計)】</b> 基準：42,538人(～R4) 目標：増加</p> <p><b>【住宅の耐震化率】</b> 基準： 目標：</p> <p><b>【耐震診断・耐震改修・解体補助申請】</b> 基準： 目標：増加</p>

### (3) 恵庭らしさを活かした魅力あるまちづくり

具体的な施策・事業	重要業績評価指標 (KPI)
<p><b>⑩地域資源活用観光振興</b></p> <p>インバウンドを含めた交流人口の増加を目指し、地域資源を活かしたイベントの充実、観光プロモーションの展開など観光資源の魅力や認知度の向上を図ります</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○関係人口の拡大</li> <li>○盤尻地区まちづくり観光事業</li> <li>○ルルマップ自然公園ふれらんどにおける交流促進</li> <li>○全国都市緑化フェアの開催誘致</li> <li>○「花ロードえにわ」(道の駅)と農畜産物直売所による農商工等連携拠点整備事業</li> <li>○子育て支援、教育、観光を融合させた花のまちづくり拠点(センターハウス)整備事業</li> <li>○観光プロモーション</li> <li>◇ガーデンツーリズムの推進 (イベント事業の充実、地域連携による全道的イベントの展開、恵庭溪谷の活用)</li> <li>◇花のまちづくりプラン推進 (恵庭市公共施設花づくり指針等の推進、ガーデンデザインプロジェクトの推進によるまちのイメージ向上)</li> <li>◇対恵庭直接投資継続拡大に係る推進事業(海外及び国内)</li> </ul>	<p><b>【観光入込客数】</b></p> <p>基準：2,011千人(R4) (内ガーデンフェスタ340千人)</p> <p>目標：増加</p>
<p><b>⑪地域産業活性化</b></p> <p>地域性を反映した事業を展開し、雇用の増や経済の活性化を図ります</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎工業用地の確保</li> <li>◇スマート農業の推進</li> <li>◇農業技能実習生受入サポート事業</li> <li>◇サテライトオフィスやコワーキングスペースの活用</li> <li>◇テレワークやワーケーションの推進</li> <li>◇ふるさと納税推進</li> <li>◇自社工場製品モニター販売促進</li> <li>◇認定農業者・後継者・新規就農者の育成</li> <li>◇農商工連携の推進</li> </ul>	<p><b>【製造品出荷額等】</b></p> <p>基準：1,418億円(R2)</p> <p>目標：増加</p> <p><b>【納税者一人当たり総所得金額等】</b></p> <p>基準：291万円(R4)</p> <p>目標：増加</p> <p><b>【ふるさと納税者数】</b></p> <p>基準：</p> <p>目標：増加</p>

<ul style="list-style-type: none"> <li>◇産業 PR イベントの開催</li> <li>◇産官学金の連携による地元企業の活性化</li> <li>◇外国人材が働きやすいまちづくり</li> <li>◇(再掲)「花ロードえにわ」(道の駅)と農畜産物直売所による農商工等連携拠点整備事業</li> <li>◇(再掲)都市間交流による産業連携</li> <li>◇(再掲)子育て支援、教育、観光を融合させた花のまちづくり拠点(センターハウス)整備事業</li> <li>◇(再掲)新ガーデンデザインプロジェクトの推進</li> </ul>	<p>ふるさと納税額</p> <p>(基準値 H30=3 億 3294 万円、目標値 R6=10 億円)</p>
<p><b>⑫産業連関表を活用した地域経済活性化</b></p> <p>産業連関表を活かし、経済波及効果を測定することにより、効率的な投資により雇用を創出します</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇産業連関表活用事業</li> <li>◇RESAS 活用事業</li> <li>◇地域経済循環分析(環境省)活用事業</li> </ul>	<p>【産業連関表による活用数】</p> <p>基準：0 件 (R4)</p> <p>目標：増加</p>
<p><b>⑬地域エネルギー有効活用</b></p> <p>地球温暖化対策実行計画を策定し、地域エネルギーの有効活用を行ないます</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇地域エネルギー有効活用事業</li> <li>◇環境配慮型住宅の推進</li> <li>◇まちごと COOL CHOICE の促進</li> <li>◇(再掲)新ガーデンデザインプロジェクトの推進</li> </ul>	<p>【市内温室効果ガス排出量の H25 年度比】</p> <p>基準：2.2%減 (H30)</p> <p>目標：削減</p> <p>【市役所の事務事業における二酸化炭素排出量の H25 年度比】</p> <p>基準：1.9%減 (R1)</p> <p>目標：削減</p> <p>COOL CHOICE 賛同登録件数</p> <p>(累計)</p>
<p><b>⑭就労促進</b></p> <p>地域の雇用の場を創出し、地元就職の促進を図るとともに、女性や高齢者、障がい者等の働く場を維持、拡大し就業人口の増加を図ります</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇外国人材の登用推進</li> <li>◇就職応援セミナー</li> <li>(学生・生徒、保護者を通じた地元就活)</li> </ul>	<p>地元(大学・専門学校)卒業者の地元就職</p> <p>基準：</p> <p>目標：増加</p> <p>【圏域率】</p>

<ul style="list-style-type: none"> <li>◇合同企業就職説明会</li> <li>◇企業誘致の促進 (土地利用の促進や拡大・効果的な優遇制度の運用等)</li> <li>◇障がい者や高齢者等幅広い就労支援事業</li> <li>◇農福連携</li> <li>◇女性就業促進のための保育等多様なニーズに対応する各種施策事業の連携取組</li> <li>◇季節労働者通年雇用促進支援事業</li> <li>◇(再掲) 新ガーデンデザインプロジェクトの推進</li> </ul>	<p>農福連携による就労者・就労訓練者数</p> <p>【雇用(従業員)確保率の増】</p> <p>基準: 37.2%(R元)</p> <p>目標: 上昇</p> <p>※人材確保計画独自調査</p>
<p><b>15 中小企業支援事業・起業家支援</b></p> <p>働く場の創出のため起業家支援を実施するとともに、関係機関と連携しながら中小企業の振興を図ります</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇市内外起業家支援事業(新たな開業支援等)</li> <li>◇中小企業活動支援</li> <li>◇(再掲) 駅まちプラザ賑わい創出事業</li> <li>◇(再掲) 商店街活性化事業</li> </ul>	<p>【起業件数】</p> <p>基準: 61件(R2~R4計)</p> <p>目標: 増加</p>
<p><b>16 移住定住促進</b></p> <p>暮らしや子育て環境を整え、移住定住者の必要とする情報を提供し、条件やニーズに応え、移住の促進を図ります</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇外国人も暮らしやすく、住みやすいまちづくり(多文化共生)</li> <li>◇女性、高齢者、障がい者等が共生するまちづくり</li> <li>◇住み替え促進事業 (住み替えセミナーによる戸建て住宅等の供給促進、高齢者の住み替え、リフォーム等の推進)</li> <li>◇移住者促進事業 (雇用情報・賃貸住宅情報等一括提供事業)</li> <li>◇土地利用促進による宅地供給促進</li> <li>◎二地域居住の推進</li> <li>◇シティセールスの推進(庁内・市民検討委員会)</li> <li>◇(再掲) 新ガーデンデザインプロジェクトの推進</li> </ul>	<p>【日本語習得支援ボランティア(日本語ポーター)育成セミナー及び講座の参加者数】</p> <p>基準: 316人(R2~R4計)</p> <p>目標: 増加</p> <p>【ホグーメイトツアー参加者数】</p> <p>基準: 24件(R2~R4計)</p> <p>目標: 増加</p>
<p><b>17 高等教育機関等と連携した若者定着と知の拠点づくり</b></p> <p>地域と若者をつなぐ拠点として、大学・専門学校や高等学校を位置づけ、高等教育機関を核とした地域力の強化と</p>	<p>地元(大学・専門学校)卒業者の地元就職</p>

<p>若者の雇用拡大と定住を図ります</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎地域創造研究センターとの連携</li> <li>◇高等学校・大学等における人材育成</li> <li>◇高等教育機関連携事業</li> <li>◇産官学連携</li> <li>◇地元学生・生徒の定着促進事業</li> </ul>	<p>【地域創造研究センターとの連携事業】</p> <p>基準：0件</p> <p>目標：増加</p>
---	---



(4) 希望を持って子育てしたくなるまちづくり

具体的な施策・事業	重要業績評価指標 (KPI)
<p><b>⑱ 個々人の希望をかなえる少子化対策推進事業</b></p> <p>安心して子育てのできる環境・風土を関係事業者と連携し社会全体としてつくりあげます</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 育児休暇取得促進事業</li> <li>◇ 子育て応援企業表彰制度</li> <li>◇ 子育て応援隊の推進</li> <li>◇ (再掲) 子育て支援、教育、観光を融合させた花のまちづくり拠点 (センターハウス) 整備事業</li> </ul>	<p>【子育て応援企業表彰数】</p> <p>基準：18件 (R4)</p> <p>目標：増加</p>
<p><b>⑲ 妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援</b></p> <p>妊娠、出産、子育てと切れ目のない支援をすることにより、親子が安心して健やかに過ごせる環境づくりに努め、希望をもって子育てしたくなるまちづくりを進めます</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎ えにわっこ応援センターの創設</li> <li>○ 保育士確保対策</li> <li>◇ Coconet (ここねっと) えにわの取組み推進 (子育て世代包括支援センター事業)</li> <li>◇ 子ども貧困対策</li> <li>◇ 特定不妊治療費助成事業</li> <li>◇ 妊婦健康診査費助成</li> <li>◇ 産後子育てサポート事業</li> <li>◇ 多子世帯軽減支援事業</li> <li>◇ 私立幼稚園特別支援教育推進事業</li> <li>◇ 恵庭市独自要件による保育園入所事業</li> <li>◇ 子育て情報発信事業</li> <li>◇ 多様な子どもの遊び場の創設</li> <li>◇ (再掲) 女性就業促進のための保育等多様なニーズに対応する各種施策事業の連携取組</li> <li>◇ (再掲) 子育て支援、教育、観光を融合させた花のまちづくり拠点 (センターハウス) 整備事業</li> </ul>	<p>【合計特殊出生率】</p> <p>基準：1.35 (R3)</p> <p>目標：維持</p>
<p><b>⑳ 教育環境の充実、学力向上</b></p> <p>教育環境の充実・学力向上により魅力あるまちづくりを</p>	<p>土曜授業延べ日数</p>

<p>アピールし、転入者増加を目指します</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇子どもの生活・学習支援事業</li> <li>◇ふるさと教育のさらなる充実</li> <li>◇英語教育の推進（英検 IBA の実施）</li> <li>◇土曜授業等推進事業</li> <li>◇教育環境の充実 （ICT 教育環境の推進、スクールソーシャルワーカー、学習支援の推進、コミュニティ・スクールの推進等）</li> <li>◇読書活動推進</li> <li>◇小中連携教育の推進</li> <li>◇学力・体力向上施策の推進</li> <li>◇（再掲）新ガーデンデザインプロジェクトの推進</li> </ul>	<p><del>（基準値 R1=32 日、</del> <del>目標値 R6=38 日）</del></p> <p><b>【ふるさと教育の実施数】</b></p> <p>基準：〇件〇</p> <p>目標：増加</p> <p><b>【学力体力向上施策の実施数】</b></p> <p>基準：〇件〇</p> <p>目標：増加</p>
--	---

## 4.4 以降、第3回創生懇談会にてお示しします

### 4.4 施策の横断的展開

#### (1) 若者世代を中心としたニーズに対応する横断的施策（P17 参考資料参照）

今後も遊休地等を活用した宅地供給による転入者増を図るとともに、高齢者の住み替えによる既存住宅の活用や流動化事業を進め、さらには若年層のニーズにある賃貸住宅供給も促進するなど、宅地や既存住宅の循環、連携を推進することにより、出生率の増や人口の社会増を目指すこととします。

#### (2) 交流人口増による幅広い地域産業活性化（P18 参考資料参照）

道央圏 264 万人の日帰り観光をメインターゲットとし、本市の特色や地域性である「花のまちのイメージ」や農産物、自然景観など良好な地域資源を活用することで、交流人口を伸ばし、さらには経済波及効果を拡大させ、幅広い地域産業の活性化を図り、雇用の増などへ結び付けていくことを目指します。

#### (3) 妊娠・出産・就労・結婚・定住への切れ目のない支援（P19 参考資料参照）

年代別に施策の対象者は異なり、必要とする支援も異なることから、妊娠・出産・子育て・就労・結婚・定住への切れ目のない支援を体系づけることにより、効果的な施策展開を図っていきます。

#### (4) 新ガーデンデザインプロジェクトの推進（P20 参考資料参照）

JR 駅を中心としたコンパクトで質の高い住環境、市街地に近接する工業団地を中心とする利便性の高い職場環境、ガーデンツーリズム等の観光機能の更なる強化に取り組むとともに、防災、景観、環境、健康機能を付加し、居心地の良い生活空間づくりを進め、QOL が高いまち＝「住みやすいまち、暮らしやすいまち」の戦略的な PR を推進します。

#### (5) 新しい時代の流れを力に（P21 参考資料参照）

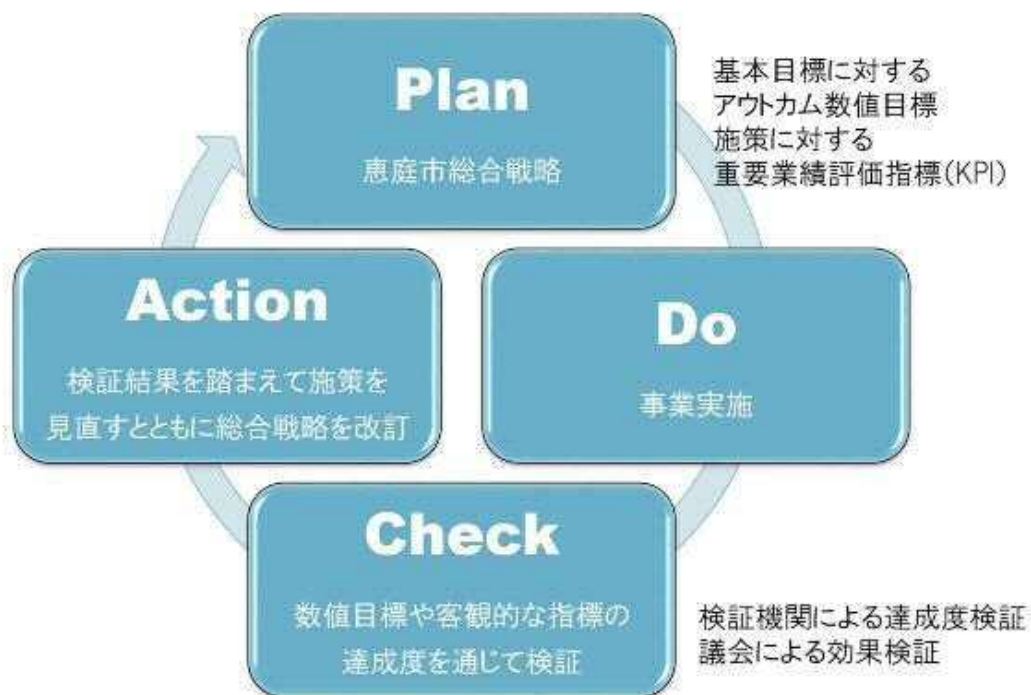
Society5.0 の推進による未来技術は、有効に活用することで課題を解決するだけでなく、市民生活の利便性を高め、恵庭の魅力を向上させるものと期待されます。また、SDGs の理念に沿って進めることにより、政策の全体最適化及び課題解決の加速化が期待でき、持続可能なまちづくりを推進します。さらに恵庭の資源を活用し関係人口の創出に努めます。

## 5. 戦略の推進管理

### 5.1 PDCAサイクルの推進

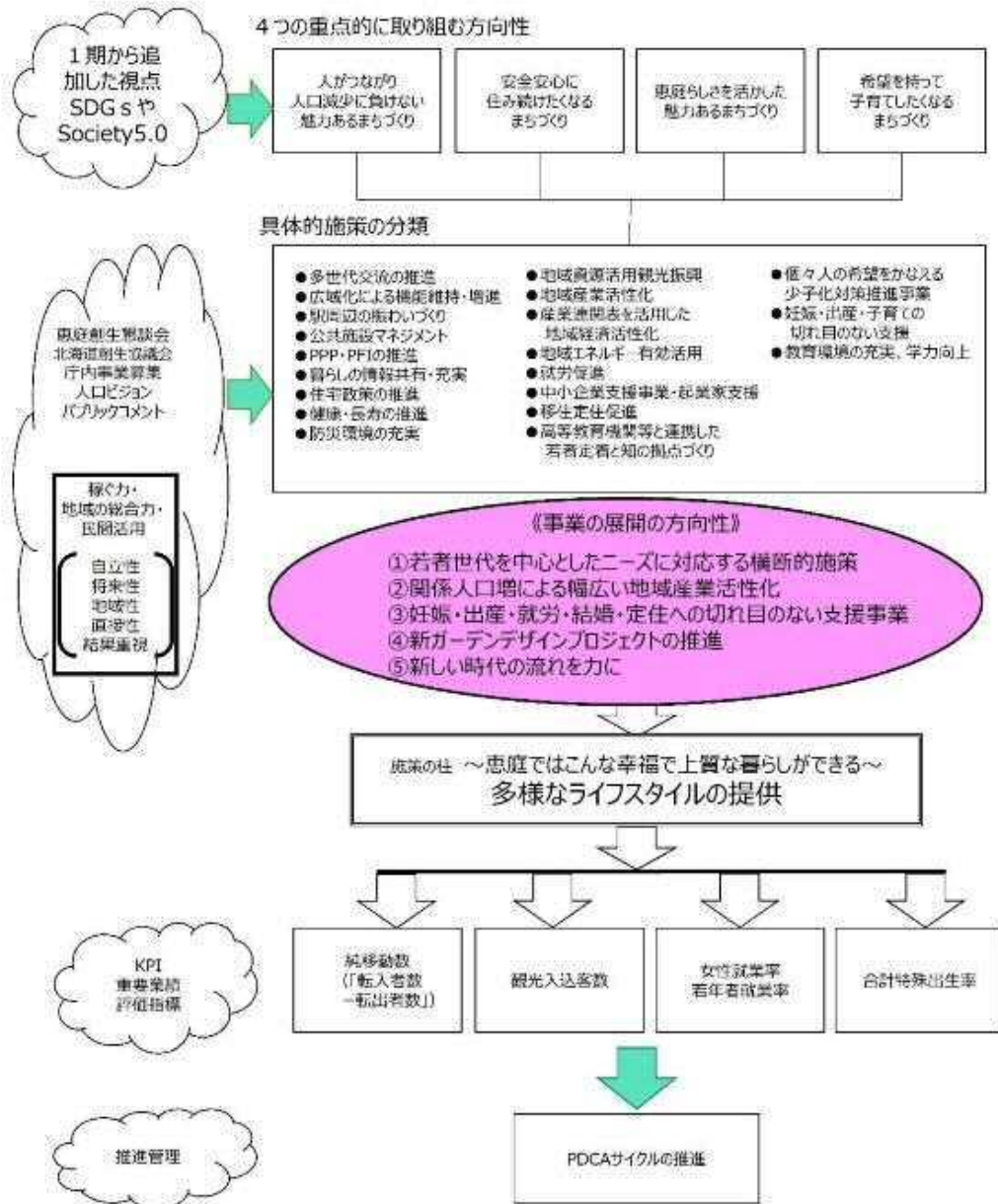
恵庭市総合戦略では、基本目標に対するアウトカム（行政活動そのものの結果に係る数値目標ではなく、その結果として国民にもたらされた便益に係る数値目標）を、構成する各事業等には、検証に必要な客観的指標となる短・中期の政策目標のKPIを設定しました。これらに基づき、総合戦略の進捗を毎年度検証し、検証結果に基づいた総合戦略の見直しを行い、状況に応じた施策を実行していくPDCAサイクルを確立することで、総合戦略の基本目標達成に向けた継続的な改善を推進していくこととします。

## PDCAサイクル



## 6. 参考

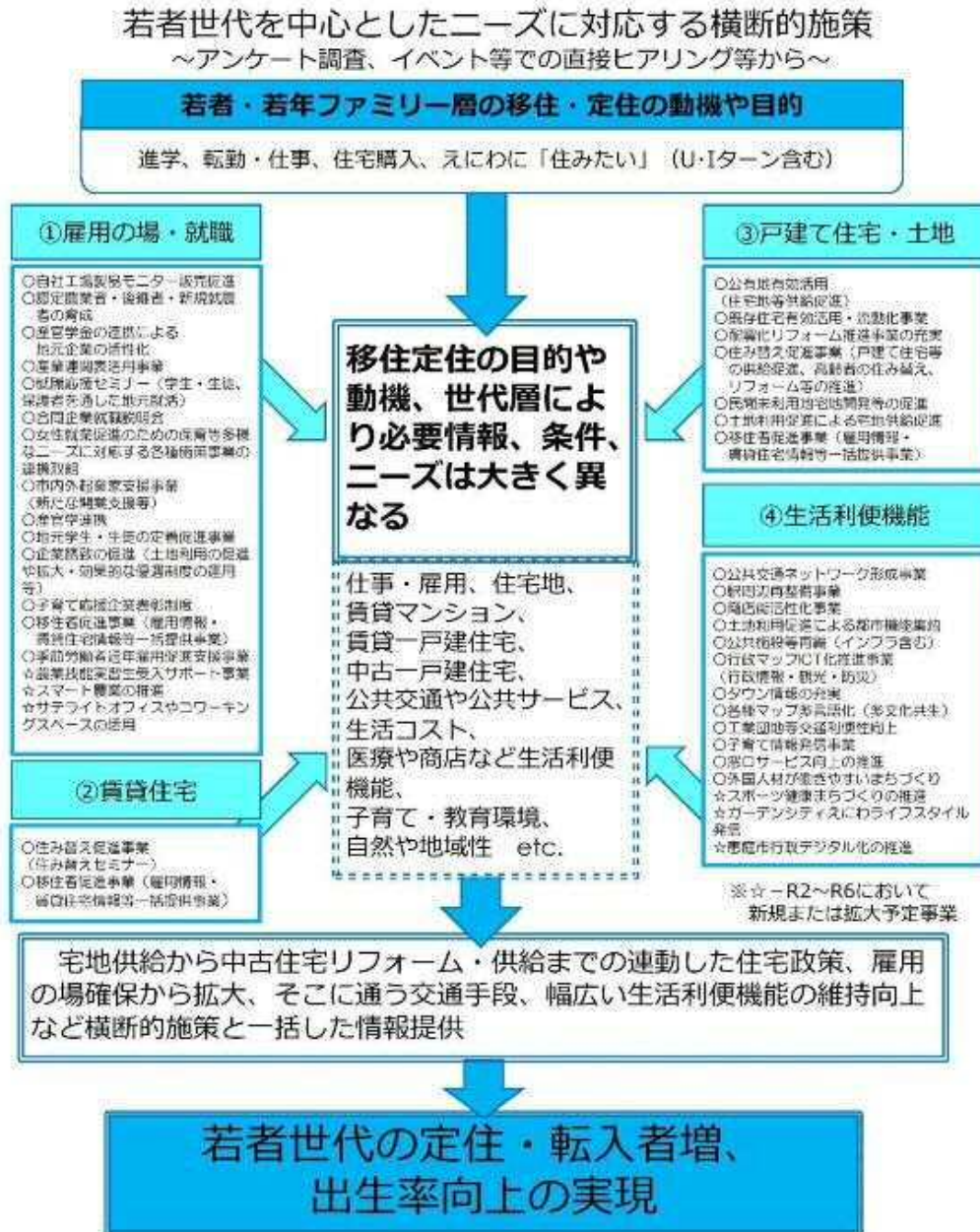
### 6.1 総合戦略の構成の概要



## 6.2 事業の展開の方向性

### (1) 若者世代を中心としたニーズに対応する横断的施策

参考資料



宅地供給から中古住宅リフォーム・供給までの連動した住宅政策、雇用の場確保から拡大、そこに通う交通手段、幅広い生活利便機能の維持向上など横断的施策と一括した情報提供

**若者世代の定住・転入者増、出生率向上の実現**



(2) 交流人口増による幅広い地域産業活性化

参考資料

## 交流人口増による幅広い地域産業活性化





(3) 妊娠・出産・就労・結婚・定住への切れ目のない支援事業一覧

妊娠・出産・就労・結婚・定住への切れ目のない支援事業一覧

参考資料



(4) 新ガーデンデザインプロジェクトの推進

新ガーデンデザインプロジェクトの推進

参考資料



(5) 新しい時代の流れを力に

新しい時代の流れを力に

参考資料

①第2期恵庭市総合戦略とSociety5.0の関係による人間中心の社会

	区分	分野	態様	将来像	
未来技術で実現する将来像	国 想 定	事業・ビジネス	製造	生産流通管理	
			サービス	キャッシュレス	多言語翻訳アプリ
			農林水産	スマート農業	
	市	⑤PPP・PFIの推進 ⑥暮らしの情報発信・充実 ⑩地域産業活性化 ⑪移住定住促進			
	国 想 定	社会基盤・空間	行政	オープンデータ	テレワーク
			インフラ	AI活用	スマートメータ
			運輸	自動運転	ドローン
	市	③駅周辺の賑わいづくり ⑤PPP・PFIの推進 ⑩地域産業活性化			
	国 想 定	生活・学び	家庭生活	人とロボットの共生	
			医療介護	オンライン医療	医療データ
教育			遠隔授業	タブレット学習	
市	⑤PPP・PFIの推進 ⑧健康・長寿の推進 ⑨教育環境の充実、学力向上				

Society 5.0による人間中心の社会





# 新しい時代の流れを力に

参考資料

## ②第2期恵庭市総合戦略とSDGsの関係

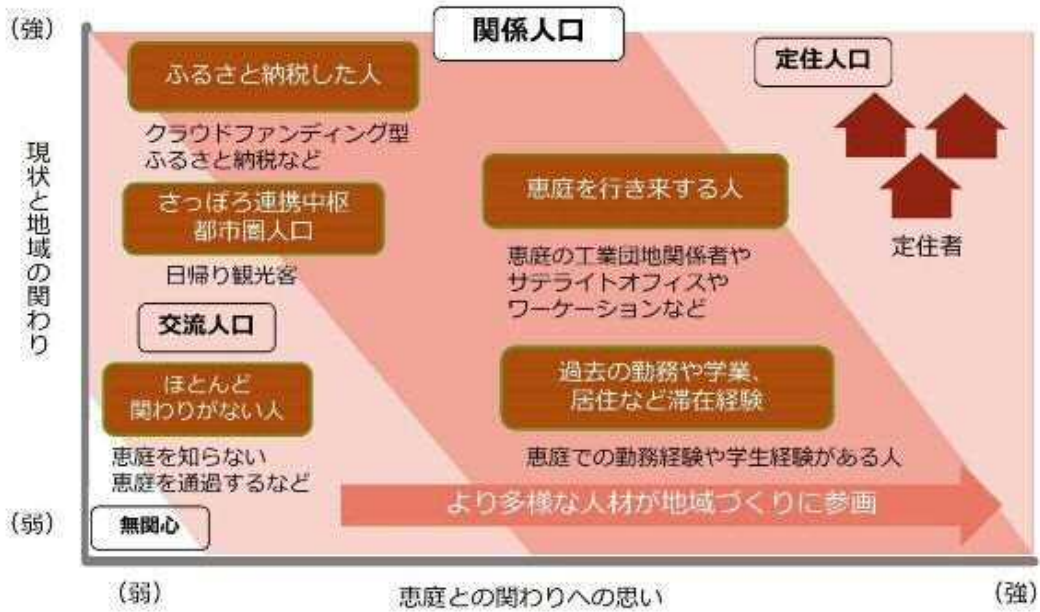
- |                |                           |
|----------------|---------------------------|
| ①多世代交流の推進      | ⑪地域産業活性化                  |
| ②広域化による機能維持・増進 | ⑫産業連関表を活用した地域経済活性化        |
| ③駅周辺の賑わいづくり    | ⑬地域エネルギー有効活用              |
| ④公共施設マネジメント    | ⑭就労促進                     |
| ⑤PPP・PFIの推進    | ⑮中小企業支援事業・起業家支援           |
| ⑥暮らしの情報発信・充実   | ⑯移住定住促進                   |
| ⑦住宅政策の推進       | ⑰高等教育機関等と連携した若者定着と知の拠点づくり |
| ⑧健康・長寿の推進      | ⑱個々人の希望をかなえる少子化対策推進事業     |
| ⑨防災環境の充実       | ⑲妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援       |
| ⑩地域資源活用観光振興    | ⑳教育環境の充実、学力向上             |



## 新しい時代の流れを力に

参考資料

### ③ 恵庭市における関係人口の創出



- ⑤ PPP・PFIの推進
- ⑥ 地域資源活用観光振興
- ⑦ 地域産業活性化
- ⑧ 移住定住促進
- ⑨ 高等教育機関等と連携した若者定着と知の拠点づくり

### 6.3 令和5年度恵庭創生懇談会

職名	氏名	役職等
学識経験者	小磯修二	一般社団法人地域研究工房 代表理事
市内事業者	矢崎哲夫	サッポロビール株式会社 北海道工場 副工場長
市内事業者	大泉晃	恵庭商工会議所 青年部会長 (大泉塗装 代表)
高等教育機関	高岡哲子	学校法人 鶴岡学園 北海道文教大学 副学長 医療保健科学部看護学科教授
金融機関	二瓶文彰	北洋銀行 恵庭中央支店長
金融機関	岡部利夫	北海道銀行 恵庭支店長
報道機関	山崎真理子	北海道新聞社 千歳支局長
労働者代表	長太裕一	連合北海道恵庭地区連合 会長
士業	佐藤康介	社会保険労務士法人 シェルパ 代表
行政	業天章裕	千歳公共職業安定所 所長
行政	矢野敦子	北海道石狩振興局 地域創生部長
デジタル	中村敦史	中央コンピューターサービス株式会社 地域デザイン事業部 CX 推進課長

第1回恵庭創生懇談会 令和5年7月3日

第2回恵庭創生懇談会 令和5年8月28日

第3回恵庭創生懇談会 令和5年 月 日

第4回恵庭創生懇談会 令和6年 月 日

## 第3期恵庭市総合戦略

2024年（令和6年）3月

■発行 恵庭市

〒061-1498

北海道恵庭市京町1番地

☎：0123-33-3131

HP：<https://www.city.eniwa.hokkaido.jp/>

■編集 企画振興部企画課



## 「第3期恵庭市総合戦略」 新たに検討を要する項目について

### ○「地域創造研究センター設立記念フォーラム」における提案

- ・文化政策（観光、まちづくり、国際交流、福祉、教育、産業など）への挑戦
- ・都市インフラ政策の融合、再構築
- ・脱炭素（ゼロカーボン、GX）を都市成長戦略に
- ・データ・サイエンスと政策形成力の向上

### ○近隣自治体の動向を踏まえた土地利用のあり方

- ・機動的な土地利用の促進
- ・工業用地の調査研究

### ○ポストガーデンフェスタの中長期的な取組

- ・「花のまちづくり」に係る相談・中間支援機能の検討
- ・行政、専門家、市民などが協働で花のまちづくりの方針を決めていく機会の検討
- ・「はなふる」を活用した観光事業の検討

### ○職員有志による「横断的施策検討プロジェクト」からの提言

- ※今後、プロジェクトチームにより内容を検討

## 総合戦略「横断的施策」検討プロジェクトについて

### 1. 事業の目的・内容

本年度策定する「第3期恵庭市総合戦略」について、職員の柔軟な発想とアイデアを生かし、既存施策や現在検討中のまちづくり施策、デジタル技術等の新たな施策等を複合的に連携することで、将来の人口減少に対応した横断的展開施策（案）の検討を行う。

### 2. 検討体制

市職員（有志）によるプロジェクトチームを編成します。

企画課は、プロジェクトチームに対して総合戦略・人口ビジョンに関する情報を提供するとともに調整・支援などを行います。また、作成した横断的展開施策（案）は、「第3期恵庭市総合戦略」に位置付けることを恵庭創生懇談会に諮ります。

### 3. 事業実施経過

- ・令和5年7月 6日 恵庭市総合戦略の横断的展開施策（案）作成スタッフの募集
- ・令和5年7月20日 募集締め切り（12名の応募あり）
- ・令和5年8月 8日 第1回検討プロジェクト  
(以降、今後の予定)
- ・令和5年8月31日～ 第2回～第4回 検討プロジェクト  
令和5年10月末
- ・令和5年11月上旬 第3回恵庭創生懇談会にて報告

### 4. 検討テーマ

- ・第3期恵庭市総合戦略における「施策の横断的展開」施策として検討する。
  - ① 若者世代を中心としたニーズに対応する横断的施策
  - ② 交流人口増による幅広い地域産業活性化
  - ③ 妊娠・出産・就労・結婚・定住への切れ目のない支援事業一覧
  - ④ 新ガーデンデザインプロジェクトの推進
  - ⑤ 新たな時代の流れを力に

## 恵庭市総合戦略検討プロジェクト検討スタッフ

	部署		役職	氏名
1	総務部	職員課	主任主事	大谷 豊
2	総務部 情報政策室	情報政策課	主任主事	岡 大貴
3	総務部 財務室	債権管理課	主査	浅見 宏太
4	企画振興部	企画課	主査	吉成 祐輔
5	企画振興部	企画課	主査	根深 忠大
6	生活環境部 ゼロカーボン推進室	廃棄物管理課	主任主事	茂古沼 結美
7	保健福祉部	障がい福祉課	主任主事	鈴木 由衣
8	子ども未来部	幼児保育課	主査	向井 由美
9	経済部	商工労働課	主任主事	木下 信二
10	建設部	市営住宅課	主査	中山 亮平
11	水道部	上水道課	技師	加藤 駿太郎
12	教育部	教育総務課	主事	竹内 美雪